

研究主題

自ら課題を見つけ、探究し続ける児童の育成

～児童のつまずきに対する、教師の効果的なファシリテートの在り方～

児童の理想的な姿＝『すすんで行動し、みんなとともに伸びる子ども』

自分のことは自分で責任をもって取り組むことができる。

友達や地域のことを考えて行動できる。

失敗を恐れず挑戦し続ける。

カリキュラム・マネジメントの充実

活動・表現の場の設定

各教科等

生活科・
総合的な
学習の時間

特別活動
学校行事

☆探究のサイクルを明確にした、「プロジェクト型学習（PBL）」でゴールの活動を明確に設定。

- ・児童主体の活動を質的向上させるために、予想される児童のつまずきから想定した「教師の出（ファシリテート）」の部分を具体的に設定。
- ・自分の考えや気持ちを伝え合う活動を行うなど、協働的に学習する。

学びの土台となる力

○非認知的能力（テストでは数値化されない、人生を豊かにする力）

- ・「自己肯定感」、「やる気」、「粘り強さ」、「自制心」、「行動力」、「協調性」、「失敗から学ぶ力」、「創造力」等

○認知的能力（教科学力の基盤となる力）

「学ぶ喜び実感サポート事業」の対象

- ・「言葉・語彙」、「数・形・量」、「思考力・推論力」等